

2026 年度日本茶業学会研究発表会プログラム

2026 年 11 月 18 日
鹿児島市「ホテル自治会館」

A会場 (401 号室) 成分・製茶・事例紹介・その他

9:30 - 10:45 片山隆之

- A-1 抽出温度の違いによる GABA 煎茶の品質変化—抽出液の理化学特性・抗酸化能、および抽出液粉末の遊離アミノ酸類・香味特性の評価—
○豊泉友康・三宅健司¹⁾・酒井翔太郎・勝野剛
(静岡県農林技術研究所茶業研究センター, 1) 静岡県工業技術研究所)
- A-2 緑茶水色の緑に寄与する成分
○物部真奈美・江間かおり・堀江秀樹
(アイング総合研究所)
- A-3 凍結濃縮法が緑茶芳香蒸留水の香気成分に及ぼす影響
○仁科芳文・三宅健司¹⁾・勝野剛
(静岡県農林技術研究所茶業研究センター, 1) 静岡県工業技術研究所)
- A-4 茶冷水抽出液の加熱による成分変化
○久保田大貴・豊泉友康・勝野剛
(静岡県農林技術研究所茶業研究センター)
- A-5 熱水浸漬処理による茶葉のカフェイン低減効果と機能性成分・呈味性アミノ酸の変動
○酒井翔太郎・豊泉友康・勝野剛
(静岡県農林技術研究所茶業研究センター)

10:45 - 12:00 柴田貴子

- A-6 一番茶生育期における積算気温に基づく茶芽中成分含有量の推定技術について
○樋口豊士・近藤知義・近藤拓也¹⁾・濱谷昭寿²⁾・忠谷浩
(滋賀県農業技術振興センター茶業指導所, 1) 滋賀県甲賀農業農村振興事務所農産普及課, 2) 滋賀県農政水産部みらいの農業推進課)
- A-7 有機栽培茶園における食酢バイプロダクト施用が茶樹の収量と茶葉品質に及ぼす影響
○種子朱莉¹⁾・水野嘉彦²⁾・高橋幹雄³⁾・山下寛人^{1, 4, 5)}・一家崇志^{1, 4, 5)}
(1) 静岡大学大学院農学専攻, 2) 株式会社THE CRAFT FARM, 3) 株式会社Mizkan, 4) 静岡大学ティーサイエンス研, 5) 静岡大学グリーン研)
- A-8 蒸熱が茶中フタルイミドとその前駆物質に及ぼす影響
○水上裕造・佐藤安志
(農研機構果樹茶業研究部門)
- A-9 抹茶の品質維持に適した保管条件に関する検討
○野村幸子・吉田克志・荻野暁子・山下修矢・大井彩子・勝野剛¹⁾・豊泉友康¹⁾・久保田大貴¹⁾
(農研機構果樹茶業研究部門, 1) 静岡県農林技術研究所茶業研究センター)

- A-10 ティーバッグ紅茶の保存に伴う飲用品質および蛍光特性の変化
○伊藤葉子・中北智哉¹⁾・北澤裕明¹⁾
(日本女子大学大学院家政学研究科食物・栄養学専攻, 1) 日本女子大学食科学部食科学科)

12:00 - 13:00 休憩

13:00 - 13:55 総会(議事・表彰)

14:20 - 15:35 水上裕造

- A-11 次代を担う茶経営者として ～技術継承とデータ活用による経営力向上～
○古城博隆・富濱毅¹⁾・内村浩一郎²⁾・浅井淳也²⁾
(薩摩さみどり会, 1) 鹿児島県南薩地域振興局農政普及課, 2) 北薩振興局農政普及課出水市駐在, 3) さつま町駐在)
- A-12 荒茶白茎の分布の特徴と収益性との関係
○富濱毅・谷口康寛¹⁾
(鹿児島県南薩地域振興局農政普及課, 1) J A北さつま)
- A-13 佐賀オリジナル烏龍茶の嗜好性調査
○山口裕成・山口幸蔵・前田直樹
(佐賀県茶業試験場)
- A-14 鹿児島県主要品種におけるてん茶の品質特性の検討
○片山隆之・古川宗志郎・眞正清司・崎原敏博・遠矢聡志・中村憲知
(鹿児島県農業開発総合センター)
- A-15 重油を使用せず操作性に優れたてん茶機の導入と今後の課題について
○岩佐 侑・山下幸司・高垣友祐・工藤康將・吉田芳隆¹⁾・下農 豊²⁾・古川嘉嗣³⁾
(京都府農林水産技術センター, 1) 株式会社ヨシダ, 2) T P R 商事株式会社, 3) 株式会社古川製茶)

15:35 - 16:35 山口幸蔵

- A-16 既存の緑茶ラインを活用した紅茶の効率的製造技術の検討
○中村憲知・吉村虹希・片山隆之・遠矢聡志・眞正清司
(鹿児島県農業開発総合センター)
- A-17 焙煎度の違いがほうじ茶の香味に及ぼす影響
○柴田貴子^{1, 2)}・小林三智子³⁾・佐川岳人⁴⁾・渡辺章夫^{2, 3)}
(1) 埼玉県茶業研究所, 2) 十文字学園女子大・院・人間生活, 3) 十文字学園女子大・人間生活, 4) エスビー食品(株))
- A-18 発酵時間の違いが紅茶の品質に及ぼす影響
○飯泉聡介・大木和也¹⁾・鈴木龍一郎²⁾
(茨城県農業総合センター山間地帯特産指導所, 1) 埼玉県茶業研究所, 2) 城西大学薬学部薬学科天然物化学研究室)
- A-19 国産紅茶の官能評価における香気及び滋味の違いがわかる最適な抽出方法の検討
○大木和也・飯泉聡介¹⁾・高橋 淳・柴田貴子・佐野行正
(埼玉県茶業研究所, 1) 茨城県山間特産指導所)

17:30 懇親会(アートホテル鹿児島)

B会場 (402号室) 育種・病害虫・土肥

9:30 - 10:15 高橋 淳

- B-1 沖縄県農業研究センター名護支所が保有するチャ雑種系統の生育特性および紅茶品質
○金城朱理・新崎泰史¹⁾・平松紀士²⁾・前田剛希
(沖縄県農業研究センター名護支所, 1) 沖縄県環境部環境再生課, 2) 沖縄県八重山農林水産振興センター)
- B-2 緑茶用品種'かなえまる'の気象条件の異なる現地圃場での栽培事例
○大井彩子・吉田克志・荻野暁子・山下修矢・高山和大
(農研機構果樹茶業研究部門)
- B-3 緑茶用新品種「りんめい」の育成
○山下修矢・吉田克志・荻野暁子・根角厚司¹⁾・谷口郁也・田中淳一¹⁾・佐波哲次・高山和大・大井彩子・萬屋宏・松永明子²⁾・久保武大
(農研機構果樹茶業研究部門, 1) 農研機構本部, 2) 農研機構野菜花き研究部門)

10:15 - 11:15 荻野暁子

- B-4 リーフ茶およびドリンク原料に適した晩生品種'彩の女神' '彩の糸'の育成
○上保貴則・高橋淳・後藤高秋¹⁾・村松浩明²⁾・水落大介³⁾・宮田穂波・中島健太⁴⁾・上野将成・一谷正己⁵⁾・辰己由華⁶⁾
(埼玉県茶業研究所, 1) 埼玉県農林部農産物安全課, 2) (株)伊藤園農業技術部, 3) (株)伊藤園抹茶事業部, 4) 元埼玉県茶業研究所, 5) (株)伊藤園技術開発部, 6) (株)伊藤園中央研究所)
- B-5 寒冷地でのチャ遺伝資源収集とその実生苗の評価
○高橋 淳・梶浦圭一
(埼玉県茶業研究所)
- B-6 チャの萌芽期を予測するゲノミック予測モデルの遺伝資源を用いた検証
○青島千恵理・川木純平⁷⁾・佐藤光・福島務・石黒雄大¹⁾・永野惇^{2, 3)}・一家崇志^{1, 4, 5, 6)}・山下寛人^{1, 4, 5, 6)}
(静岡県農林技術研究所茶業研究センター, 1) 岐阜大学大学院連合農学研究科, 2) 名古屋大学生物開発利用研究センター, 3) 慶應義塾大学先端生命科学研究所, 4) 静岡大学学術院農学領域, 5) 静岡大学グリーン研究所, 6) 静岡大学ティーサイエンス研, 7) 静岡県経済産業部農業戦略課)
- B-7 チャ品種の萌芽早晚性に関与するホルモン応答および遺伝要因の解析
○山田真理子¹⁾・舟川奈那²⁾・川木純平³⁾・小嶋美紀子⁴⁾・竹林裕美子⁴⁾・榊原均^{4, 5)}・永野惇^{6, 7)}・一家崇志^{1, 8, 9)}・山下寛人^{1, 8, 9)}
(1) 静大・院農2) 岐大・連農3) 静岡県・茶研4) 名大・生物機能開発利用研究センター5) 慶應大・先端生命大6) 理研・C S R S 7) 名大・院生命農8) 静大・グリーン研9) 静大・ティーサイエンス研)

11:15 - 12:00 土田祐大

- B-8 スピロピジオン剤を用いたクワシロカイガラムシの冬期処理における第一世代への防除効果及び樹冠面散布の検討
○黒岩大輔・川越洋二・長友博文
(宮崎県総合農業試験場茶業支場)

- B-9 京都府茶業研究所内におけるチュウゴクアミガサハゴロモの産卵生態および殺虫剤効果の簡易調査
岡留和伸
(京都府農林水産技術センター農林センター茶業研究所)
- B-10 福岡県の茶におけるチュウゴクアミガサハゴロモの生態解明
○末次雄哉・手柴真弓
(福岡県農林業総合試験場八女分場)

12:00 - 13:00 休憩

13:00 - 13:55 ※A会場にて総会

14:20 - 15:20 一家崇志

- B-11 茶産業副産物の茶園土壌中の窒素無機化特性
○白鳥克哉・内山道春・成川貴彦・加藤光弘¹⁾・大石哲也
(静岡県農林技術研究所茶業研究センター, 1) 同果樹研究センター)
- B-12 静岡県内の各種畜産堆肥の茶園土壌における機能
白鳥克哉・内山道春・○成川貴彦・加藤光弘¹⁾・大石哲也
(静岡県農林技術研究所茶業研究センター, 1) 同果樹研究センター)
- B-13 干ばつ対策に向けた茶園土壌のpF自動連続測定および諸資材の水分保持特性の検証
白鳥克哉・内山道春・○成川貴彦・加藤光弘¹⁾・大石哲也
(静岡県農林技術研究所茶業研究センター, 1) 同果樹研究センター)
- B-14 有機栽培転換期間における茶生育特性の品種間差
白鳥克哉・内山道春・成川貴彦・加藤光弘¹⁾・小林栄人・鈴木晴喜・香川侑里・○大石哲也
(静岡県農林技術研究所茶業研究センター, 1) 現同果樹研究センター)

15:20 - 16:35 廣野祐平

- B-15 滋賀県および奈良県に所在する長期無施肥無農薬茶園の収量性(2026年産)
○多田光史^{1, 2)}・亀村侑汰²⁾・栗田光均¹⁾・柴田誠^{2, 3)}・白岩立彦¹⁾
(1) NPO無肥研, 2) 京大院農, 3) 京大院地球環境)
- B-16 茶園畝間におけるマメ科緑肥間作による窒素供給特性と施用効果
○平野里紗¹⁾・白鳥克哉²⁾・佐藤孝³⁾・鮫島玲子¹⁾・一家崇志^{1, 4, 5)}・山下寛人^{1, 4, 5)}
(1) 静岡大学大学院農学専攻, 2) 静岡県茶業研究センター, 3) 秋田県立大学生物資源科学部, 4) 静岡大学ティーサイエンス研, 5) 静岡大学グリーン研)
- B-17 一番茶萌芽期尿素液肥施用による減肥栽培技術
岩本佳美
(熊本県農業研究センター茶業研究所)
- B-18 バイオ炭(バーク炭)施用が茶の生育および土壌化学性に与える影響
獅子島惇朗
(長崎県農林技術開発センター果樹・茶研究部門茶業研究室)
- B-19 福岡県における苦土石灰施用が茶の品質へ及ぼす影響
○石橋諒大・手柴真弓・平尾瞳¹⁾
(福岡県農林業総合試験場八女分場, 1) 福岡県朝倉農林事務所久留米普及指導センター)

17:30 懇親会(アートホテル鹿児島)

C会場 (403号室) 栽培・病害虫

9:30 - 10:45 大石哲也

- C-1 夏季少雨期間における茶園の植生指数変化と品種による差異
○中島丈慈・中村典義・釘本和仁・村島佳歩
(佐賀県茶業試験場)
- C-2 ポット栽培した幼木における水ストレスに対する生理的变化の品種間差異
中村典義
(佐賀県茶業試験場)
- C-3 ‘おくゆたか’成木園における秋期乾燥処理が樹体水分生理と収量および品質へ及ぼす影響
中村典義
(佐賀県茶業試験場)
- C-4 グルタミン酸ナトリウム処理による茶葉中のGABA等の増量化
○本間知夫・植田龍吾¹⁾・門屋利彦・高橋 淳²⁾
(前橋工科大学生命工学領域, 1) 前橋工科大学大学院生物工学専攻, 2) 埼玉県茶業研究所)
- C-5 1-ナフタレン酢酸ナトリウム水溶液の散布によるチャ新芽の生育への影響
○香川侑里・小林栄人・鈴木晴喜
(静岡県農林技術研究所茶業研究センター)

10:45 - 12:00 中村典義

- C-6 チャ再萌芽多発年における秋整枝後の再整枝位置の検討(第2報)
○飛松諒・田中敏弘・遠矢聡志・堀田彩音
(鹿児島県農業開発総合センター)
- C-7 一番茶芽の生育曲線に及ぼす剪枝強度・剪枝率の影響評価
○工藤 健^{1, 2)}・吉田真紀¹⁾・木村建介³⁾・高橋 淳¹⁾・伴 琢也⁴⁾
(1) 埼玉県茶業研究所, 2) 東京農工大院連合農学研究科, 3) 農研機構農業環境研究部門, 4) 東京農工大学)
- C-8 奈良県における整枝時期の違いが一番茶の摘採日、生育および品質に及ぼす影響
○岡田柊一・山下海人・辰巳直子・谷河明日香・梨原嵩司
(奈良県農業総合研究センター大和茶研究所, 1) 奈良県農業水産振興課)
- C-9 チャの挿し木における採穂位置や挿し木の時期が初期生育に及ぼす影響
○藤丸和浩・内村要介
(福岡県農林業総合試験場八女分場)
- C-10 1981-2025年の鹿児島県を対象としたチャの晩霜害リスクの時空間的評価
○岩井雅裕・久保田滋裕¹⁾・横山岳¹⁾・安武大輔^{1, 2)}・広田知良¹⁾
(九州大学生物資源環境科学府, 1) 九州大学農学研究院, 2) 高知大学IOP共創センター)

12:00 - 13:00 休憩

13:00 - 13:55 ※A会場にて総会

14:20 - 15:35 工藤 健

- C-11 チャ冬芽の休眠から萌芽への移行を制御する植物ホルモン機構の解析
○桑原羽菜¹⁾・大貫真弥¹⁾・川木純平²⁾・小嶋美紀子³⁾・竹林裕美子³⁾・榊原均^{3, 4)}
・永野惇^{5, 6)}・一家崇志^{1, 7, 8)}・山下寛人^{1, 7, 8)}
(1) 静大・院農 2) 静岡県・茶研 3) 名大・生物機能開発利用研究センター 4) 慶應大・先端生命大 5) 理研・C S R S 6) 名大・院生命農 7) 静大・グリーン研 8) 静大・ティーサイエンス研)
- C-12 気象と遺伝子発現の時系列情報に基づくチャ萌芽過程の二段階予測法
○植田哲仁¹⁾・川木純平²⁾・永野惇^{3, 4)}・一家崇志^{1, 5, 6)}・山下寛人^{1, 5, 6)}
(1) 静岡大学大学院農学専攻, 2) 静岡県茶業研究センター, 3) 名古屋大学生物機能開発利用センター, 4) 慶応義塾大学先端生命科学研究所, 5) 静岡大学グリーン科学技術研究所, 6) 静岡大学ティーサイエンス研究所)
- C-13 トンネル被覆栽培による玉露の品質評価および品質向上に関する研究
○酒井明日香・中園健太郎
(福岡県農林業総合試験場八女分場)
- C-14 直掛け被覆てん茶栽培における‘ゆたかみどり, せいめい, おくみどり’の一番茶被覆特性
○堀田彩音・脇野早織¹⁾・古川宗志郎²⁾・遠矢聡志・飛松諒
(鹿児島県農業開発総合センター, 1) 鹿児島県経営技術課, 2) 鹿児島県鹿児島地域振興局日置市駐在)
- C-15 反応速度論的解析法を用いたチャ新芽中クロロフィル量推定用 Excel ソフトの開発
○内村浩二・堀田彩音¹⁾・古川宗志郎²⁾・脇野早織³⁾
(鹿児島県大隅地域振興局, 1) 同農業開発総合センター, 2) 同鹿児島地域振興局, 3) 同経営技術課)

15:35 - 16:35 手柴真弓

- C-16 有機てん茶栽培におけるチャノミドリヒメヨコバイの加害時期と防除適期の検討
○重久ちひろ・鹿子木聡・天野学・上室剛
(鹿児島県農業開発総合センター生産環境部)
- C-17 空撮画像を基にした生成 AI によるチャ病虫害の発生程度別分布図の作成
小澤朗人
(静岡県立農林環境専門職大学)
- C-18 茶樹病虫害に着目した長期無施肥栽培の特徴一茶園での発生調査およびアザミウマ飼育実験
○栗田光均¹⁾・日本典秀²⁾・白岩立彦¹⁾・多田光史^{1, 2)}
(1) NPO無肥研, 2) 京大院農)
- C-19 新規登録殺菌剤のチャ炭疽病に対する作用期間の検討
○鈴木海平・加藤光弘¹⁾
(静岡県農林技術研究所茶業研究センター, 1) 静岡県農林技術研究所果樹研究センター)

17:30 懇親会(アートホテル鹿児島)

